

## 令和元年度 学校評価の結果分析と今後の課題

観点		調査対象	質問	判断基準	回答%	今年度A+Bの割合(%)	分析と今後の課題	
基本的な生活習慣に関わること	節度ある行動	生徒	授業開始のチャイムが鳴るまでに着席している。	A いつも着席している。	45.0	93.5	生徒は、節度ある行動がしっかりとれており、落ち着いた学校生活を送っている。あいさつや返事のよさは、南越中学校のよき伝統であり、生徒の評価は高くなっているが、保護者の評価は年々低くなっている。来校者や地域の人に大きな声でしっかりあいさつが届いていないと考えられる。登下校指導や学校行事などあらゆる機会を利用して継続して指導していきたい。	
				B たまに着席していないことがある。	48.5			
				C 時々着席していない。	6.5			
				D ほとんど着席していない。	0			
	あいさつ・返事の励行	生徒	あいさつや返事、発表が大きな声でできている。	A いつも大きな声でできている。	28.8	82.5		
				B だいたい大きな声でできている。	53.7			
			C 時々できないことがある。	16.1				
			D ほとんどできていない。	1.4				
		保護者	南越中学校の生徒は、あいさつや返事が大きな声でできている。	A 十分できている。	10.3	80.5		
			B おおむねできている。	70.2				
			C やや不十分である。	16.8				
			D 不十分である。	2.7				
学習に関わること	授業への満足度	生徒	パソコンやプロジェクターなどの機器を使った授業は、わかりやすい。	A とてもわかりやすく楽しい。	48.2	95.1	教員は引き続き、授業の中でICTツールを活用し楽しくわかる授業づくりに取り組んでいる。さらに、どの教科でも活用できる研修会を実施し、より効果的な活用法を求めていきたい。生徒は、授業に対してわかりやすいと感じている生徒が多く見られ、保護者のポイントがアップしている。今後も、継続して取り組んでいきたい。	
				B わかることに役立っている。	46.9			
				C 必要だとは思わない。	2.8			
				D かえってわかりにくい。	2.1			
			保護者	あなたのお子様は、学校の授業を楽しんでいる。	A 楽しいと感じていると思う。	26.3		93.8
				B まあまあ楽しいと感じていると思う。	67.5			
				C 楽しくないと感じていると思う。	4.8			
				D 全く楽しくないと感じていると思う。	1.4			
	読書活動の推進	生徒	学校図書館やホール、個人の本を利用しながら、読書への意欲が高まっている。	A とても高まった。	32.0	68.4		読書については、生徒と保護者の評価が大きく違っている。学校では、図書委員会が本の紹介をしたり、はばたきホールにおすめの本を掲示したりしている。紹介を聞いて興味を持ち、借りて読んでいる生徒も見られるが、家庭では、読書よりSNS等に時間を割いていると考えられる。今後も、朝の読書の時間等を利用して読書の楽しさを示していきたい。
				B ある程度高まった。	36.4			
				C あまり高まっていない。	19.9			
				D ほとんど高まっていない。	11.7			
		保護者	あなたのお子様は、家で読書をしている。	A よくしている。	8.5	39.1		
			B 時々している。	30.6				
			C あまりしない。	27.2				
			D ほとんどしていない。	33.7				
基礎基本の定着	生徒	基礎力テスト(小テストや各コンクール)には合格できた。	A すべて合格した。	33.2	77.4	学力調査や確認テスト等への対応として、基礎力テスト(小テストや各種コンクール)を各教科や学年で計画的に取り組んでいるが、なかなか定着が図れない。取り組みの方法を見直し、生徒の意識をさらに高めていきたい。		
			B だいたい合格した。	44.2				
			C 半分くらいしか合格しなかった。	13.4				
			D ほとんど合格しなかった。	9.2				
家庭学習の充実	生徒	宿題や授業に必要な持ち物を忘れることがなかった。	A ほとんどなかった。	33.0	76.3		宿題や持ち物を忘れる生徒が徐々に減ってきており、授業の中でも、深い学びにつながる取り組みが定着してきている。今後も、隣同士で話し合ったり、グループで意見をまとめたりする活動を行っていきたい。	
			B たまにあった。	43.3				
			C 時々あった。	17.2				
			D ほとんど毎日あった。	6.5				
NIEの推進	生徒	新聞を読むことや新聞を活用した学習で、考える力や表現する力がついた。	A 十分ついた。	23.6	80.8			NIEについては朝学習を中心に取り組んでおり、授業においても活用しようという意識が高まっている。今後も、アイデアを練りながら継続的かつ効果的な方法を研究していきたい。
			B 少しついた。	57.2				
			C あまりついていない。	16.1				
			D ほとんどついていない。	3.1				
心の教育に関わること	生徒	道徳の時間、地域や学校のボランティア活動にしっかり取り組むことができている。	A いつもできている。	50.9	88.0	人への思いやりの心やボランティア活動に取り組もうとする生徒の意識が高まった。日常の指導の中で取り上げる機会が多いので、思いやりの心が行動に結びつくように、道徳推進教師を中心に、「道徳」の授業をさらに充実させるとともに、教育活動全体で指導していきたい。		
			B 時々できている。	37.1				
			C たまにしかできていない。	10.3				
			D 全くできていない。	1.7				
		保護者	あなたのお子様は、道徳の授業、地域や学校のボランティア活動等にしっかり取り組み、思いやりの心が育っていると感じられる。	A 十分に感じられる。	16.7		86.8	
			B まあまあ感じられる。	70.1				
			C あまり感じられない。	12.2				
			D 感じられない。	1.0				
キャリア教育に関わること	生徒	職業調べや職場体験活動により、職業の意義や自分の適性について理解し、進路について考えることができた。	A 前向きに考えることができた。	40.6	82.3		キャリア教育については、生徒と保護者の評価が大きく違っている。学校で行っている職業調べや職場体験、高校調べなどの取り組みの中で、保護者を巻き込んだ内容を増やし、親子で進路や将来のことを自由に話し合える雰囲気を作るようにしていきたい。	
			B だいたい考えることができた。	41.7				
			C 考えたが、まだ定まっていない。	13.9				
			D 考えていない。	3.8				
		保護者	あなたのお子様は、将来について関心を高め、家庭でも進路について話すようになった。	A 頻繁に話すようになった。	18.4	56.4		
			B ときどき話すようになった。	38.0				
			C たまに話をすることがある。	30.3				
			D 全く話をしない。	13.3				

他者との関係に関わること	学校生活の充実	生徒	安心して楽しい学校生活を送っている。	A いつも送っている。	66.1	96.6	学校生活全般において、今後も生徒が充実した生活を送れるように、生徒の自主性とたくましさを育成する活動を積極的に設定し、一人一人の生徒に寄り添った指導を進めていきたい。
				B だいたい送っている。	30.5		
				C あまり送れていない。	2.4		
				D 送れていない。	1.0		
	保護者	あなたのお子様は、明るく安心して学校生活を送っていると感じている。	A 十分に感じられる。	42.0	96.2		
			B まあまあ感じられる。	54.2			
			C あまり感じられない。	2.4			
			D 感じられない。	1.4			
	ネット、携帯、スマホ、ゲーム機の使用ルール	生徒	ネットや携帯、スマホ、ゲーム機などを使用するときは、生徒会のスマートルールを意識して守っている。	A 十分に意識して守ることができた。	28.5	70.4	生徒のスマホや携帯の所持率は年々高くなっているため、スマートルールの徹底は大きな課題である。生徒会を中心にスマートルールを生徒に意識させ、ルールの徹底に努めていきたい。今後も保護者の協力を得ながら、一人一人の生徒に対応した指導を進めていきたい。
				B だいたい守ることができた。	41.9		
				C 意識したが、まだ不十分である。	21.0		
				D 守ることができていない。	8.6		
保護者	ネットや携帯、スマホ、ゲーム機などを使用するときは、生徒会で決めたスマートルール(使うときの約束ごと)を守っている。	A よく守っている。	16.0	68.1			
		B おおむね守っている。	52.1				
		C あまり守っていない。	24.8				
		D 守っていない。	7.1				
いじめ防止	生徒	いじめを見たら、自分でやめさせたり、先生や家族に伝えるなどして、そのままにしておかない。	A 自分でやめさせる。	30.6	78.6	いじめチェックアンケートを1週間に1回実施しており、アンケートに書かれた事案については、すぐさま対応を行っている。生徒会を中心に、いじめ撲滅集会を行い、いじめ防止に対する意識を高めている。今後も、未然防止と早期対応に組織的に取り組み、生徒が安心して学校生活を送れるよう進めていきたい。	
			B 先生や家族に伝え、やめさせてもらう。	48.0			
			C 相手によってどうするか変わる。	16.2			
			D 何もしない。	5.2			
保護者	学校ではいじめ防止対策に取り組んでいる。	A 十分に取り組んでいると思う。	14.3	86.0			
		B 取り組んでいると思う。	71.7				
		C あまり取り組んでいないと思う。	13.0				
		D 取り組んでいないと思う。	1.0				
健康への意識	生徒	自分の健康状態をよく知り、健康的でよりよい生活を送ることができている。	A 十分にできている。	58.5	93.1	生徒の健康的でよりよい生活を送る意識はやや低くなっている。今後更なる向上のために、年間計画の中で効果的な指導の在り方を意図的に探求したり、講師を招いての講演会等でより強く意識する場面を作ったりしていきたい。	
			B だいたいできている。	34.6			
			C あまりできていない。	6.2			
			D できていない。	0.7			
保護者	あなたのお子様は、自分の健康状態を理解し、健康保持に心掛けていると感じられる。	A 十分に感じられる。	29.6	84.4			
		B まあまあ感じられる。	54.8				
		C あまり感じられない。	13.6				
		D 感じられない。	2.0				
部活動に関わること	生徒	部活動や学校行事において、充実感を味わうことができている。	A いつも味わうことができた。	60.6	96.9	部活動では、働き方改革や生徒の健康安全確保の観点から、短時間でより効果の上がる方法を工夫していきたい。学校行事では、生徒が充実感を味わえるよう、主体的に関わる取り組みを工夫していきたい。	
			B だいたい味わうことができた。	36.3			
			C たまにしか味わうことができなかった。	2.4			
			D 味わうことができなかった。	0.7			
食の指導に関すること	生徒	正しい食生活のあり方を理解し、自分の食生活を見直すことができた。	A 十分にできた。	49.0	94.2		食生活や食習慣は健康・学習などに深く関わっているため、さらに教員の指導を充実させるとともに、給食だよりや保健だより、ホームページを通して家庭への啓発を継続していきたい。
			B だいたいできた。	45.2			
			C あまりできなかった。	5.1			
			D できなかった。	0.7			
保護者	あなたのお子様は、食事を3食きちんと摂り好き嫌いをしないなど、のぞましい食習慣が身に付いている。	A 十分に身に付いている。	36.1	87.8			
		B おおむね身に付いている。	51.7				
		C あまり身に付いていない。	10.5				
		D 身に付いていない。	1.7				
交通安全に関すること	生徒	交通ルールを守るなど、安全に生活する気持ちができている。	A 十分にできている。	61.3	86.7	生徒の交通安全への意識が低下しており、交通マナーが不十分な場面が見受けられる。地域の方にも迷惑をおかけする場面も見られるため、全教職員で定期的な一斉指導に加え、日常的、継続的な指導をしていきたい。	
			B だいたいできている。	25.4			
			C 時々できないことがある。	10.0			
			D できていない。	3.3			
保護者	あなたのお子様は、交通ルールを守るなど安全に生活する態度ができている。	A 十分にできている。	35.2	96.2			
		B まあまあできている。	61.0				
		C あまりできていない。	3.8				
		D 全くできていない。	0.0				
家庭・地域との連携に関わること	保護者	南越中学校は、家庭や地域と連携を深めた学校づくりが行われていると思われる。	A 十分思われる。	15.3	92.9	学校公開や学校行事、地域と進める体験学習を通して家庭や地域との連携を深めたり、学校だより・学年だよりを定期的に発行して、学校の情報を発信したりしている。学校HPについては、保護者の関心も高く、さらに充実させていきたい。そのため、わかりやすくこまめな情報発信を心掛けていきたい。	
			B おおむね思われる。	77.6			
			C あまり思えない。	6.8			
			D 思えない。	0.3			
保護者	学校HPや学校だより、学年だより、学級だより等により、学校の教育活動の様子が分かった。	A よく分かった。	20.1	86.7			
		B おおむね分かった。	66.6				
		C あまり分からなかった。	11.9				
		D 分からなかった。	1.4				